

第4回香川県教育文化研究所・NIE 研究会共催セミナー**「コロナ禍の中で、どう子どもたちに
社会に目を向ける教育ができるのか」
—NIE 活動の可能性—****日時：令和 3 年 11 月 19 日（金）** 19時から20時30分まで（開場18時30分）**場所：香川県教育会館2階会議室、鳴門教育大学教授スキル演習室**（Zoomでも受講可）**講師：鳴門教育大学 特命教授 阪根健二**（香川県教育文化研究所所長）

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、鳴門教育大学から配信します。

都留文科大学 非常勤講師 植田恭子（ゲスト講師、大阪からオンライン参加）

コロナ禍で、子どもたちの活動が制約され、特に社会に目を向けたり、広い視野をもつ教育の必要性が問われたりしています。一方で、コロナ感染防止には、若い世代の意識改革と行動抑制が必要ではあっても、それがなかなか実現できない背景として、正確な報道に触れず、SNS のみに頼るという実態があります。こうした時代にどう対応すれば模索していますが、多忙な学校現場において、実践策を見いだせていません。こうした中、社会と教室を結ぶため、NIE（新聞活用教育）に大きなヒントがあります。SNS と違い、多くの人々が介在し、チェックしているメディアとして新聞があるとすれば、それをどう活用すればいいか、教職員が知っておくべき新聞の役割と活用法について扱っていきたく思います。そこには「深い学び」があり、明日からの学校・教室でのヒントを教授します。

会員（香教連・教文研・NIE 研究会）なら誰でも参加できます。なお、開催は平日（金曜日）の夜間とし、学校からも Zoom（スマホや PC 等）で参加できます。

事前に、資料送付可能なアドレス（メール）で申し込んでください。（スマートフォン等から申し込まれた場合、受信拒否設定になっている場合があります。申し込まれたアドレスに返信する形で資料送付いたしますので、申し込まれる際、必ず御確認ください。）また、その際に、参加方法（Zoom で参加か、直接来場か）をお知らせください。

香川県教育文化研究所・香川県教職員連盟

info@kakyoren.com